

「生き抜く力」を育む園小中一貫教育

特色3 授業づくり

今、日南町の教育では、子どもたちが「何を学ぶか」という教育の内容とともに、その内容を学ぶことで「何ができるようになるか」、つまり児童生徒が実生活で生かせる力を獲得することをあわせて重視しています。そのため、指導の際には、児童生徒の発達の段階、一人ひとりの多様な能力・適性、興味・関心、性格、学習経験等を的確にとらえ、きめ細かく指導・支援することが求められています。

「何ができるようになったか」「何が身についたか」を明らかにするためには、今の子どもたちが「何ができるのか」「何を身につけているか」をきちんと把握することが必要です。日南小・中学校では、これまでも「教科指導に関する情報交換会」を開き、小学校での指導内容と中学校での指導内容を見合わせ、お互いに情報交換を行ったり、指導に一貫性を持たせるための話し合いを行ったりしてきました。何ができるか、どこまで知っているか、どこまでできるようになって中学校を卒業していくかをみんなで確認して、授業づくりの充実を図ってきました。

今年度からはこども園も加わり、こども園から中学校までの間に子どもたちがどんな成長をしていくのかをみんなで確認し、みんなで支えていくことを目指しています。

地域の方にも授業に参加してもらう機会があります。その時には、子どもたちの「できるようになった」「身についた」を一緒に喜んでいただきたいと思えます。



日野郡公設塾「まなびや縁側」 日野郡3町合同で夏合宿開催！

8月4日、5日の2日間、鳥取県立大山青年の家で「えんがわガッシュク」と題して夏合宿を行いました。

この合宿では、生徒それぞれが興味を持って主体的に取り組むテーマを見つけることを目標としました。自分は今、何に興味を持ち、何を探究したいのかを考えることで、自己理解が深まります。あわせて今回は、その自分の興味や関心を地域や周りの人たちと結びつけることができないうことも考えました。自らの活動が自分にとってのメリットとなるだけでなく、地域や社会にとっても何かしらのメリットとなれば、それは立派な「ふるさと教育」だと思えます。参加した生徒は積極的に多くのアイデアを出し、取り組むテーマや具体的な活動を定めるなど、予想以上の成果を上げてくれました。今後まなびや縁側では、生徒が決めたテーマや活動を実行・実現させるために支援を行っていきます。

大山青年の家といういつもと違う場所で、自然体験やスポーツを行ったり、共同生活を楽しんだりしながら過ごした、あっという間の2日間でした。

このように公設塾では楽しい企画をたくさん行っています。塾生以外も参加できる企画もたくさんありますので、ぜひ、ご参加下さい。

※合宿は、宿泊を1人1部屋とするなど、十分な感染症対策を行った上で開催しました。



日野郡公設塾「まなびや縁側」日南拠点

住 所：日南町生山148-2 ステーションアベニューぷらら2階（JR生山駅隣接）

対 象：日南中学校3年生、高校生 塾 費：中学生無料／高校生1,000円(月額)

開 塾：火～金曜日 放課後～21:00 / 土曜日 10:00～18:00

休塾日：日曜日・月曜日・祝日（休塾日と祝日が重なる場合は、加えて翌火曜日を振替休塾日とします）

電 話：080-8035-1460

E-mail：nichi.manabiya@gmail.com



公式LINE

